

NEWS RELEASE

2026 年 10 月 14 日

株式会社電通ライブ

防火地域に設置できる 「不燃対応 LED ビジョン」を開発

— セキシソ電子と共同で特許出願、工作物確認申請の許可を取得 —

株式会社電通ライブ（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：中邨 正人）は、LED ビジョンメーカーのセキシソ電子株式会社（本社：滋賀県長浜市、代表取締役社長：東野 真）と共同で、建築基準法第 64 条（看板等の防火措置）に対応した「不燃対応 LED ビジョン」を開発し、特許を出願いたしました。あわせて 2026 年 7 月には、大阪市において本製品を用いた LED ビジョン看板の設置について、工作物確認申請の許可を取得しています。

従来、LED ビジョンは発光部やパネル等に樹脂材料を使用することから、不燃材料の要件を満たす製品は極めて限られていました。今回の開発により、防火地域内の屋上や高さ 3 メートルを超える壁面においても、法令に適合した LED ビジョンの設置を可能にする新たな選択肢を提供します。

■開発の背景

建築基準法第 64 条は、防火地域内の看板や広告塔のうち、建築物の屋上に設けるもの、または高さ 3 メートルを超えるものについて、主要な部分を不燃材料で造るか覆うことを求めています。この「主要な部分」に看板や LED ビジョンの表示面は含まれないという解釈が、従来は一般的でしたが、2025 年 8 月に大阪市内で発生した建物火災を受け、行政の運用は表示面も含むという解釈へと変わりました。この結果、樹脂材料を使用する一般的な LED ビジョンは不燃材料の要件を満たしにくくなり、既存の広告物が是正指導の対象となる事例も生じています。こうした状況を受け、当社はセキシソ電子株式会社と共同で、防火地域においても法令に適合して設置できる LED ビジョンの開発に取り組みました。

■本製品の特徴

本製品は、主要部分を不燃材料で覆う構造とすることで、建築基準法第 64 条に対応。これにより、防火地域内の屋上や、高さ 3 メートルを超える壁面への設置が可能になります。この構造は、映像表現の質を保ちながら不燃材料で覆われた状態を成立させるもので、セキシソ電子株式会社と共同で特許を出願しました。

■提供価値

課題	本製品による解決
・防火地域で LED ビジョンの工作物申請許可が出ない	・建築基準法第 64 条対応仕様の適法な設置が可能
・既存広告物が是正勧告の対象になっている	・是正、リブレース提案から施工までワンストップで対応
・法令、行政協議のノウハウが社内がない ・他の LED ビジョンでは NG となった	・行政協議、民間検査機関対応の実績に基づき、伴走支援

電通ライブは、防火地域における LED ビジョンの不燃化をはじめ、屋外広告物に使用される各種素材（ターポリン幕・内照式 FF シート・インクジェットシート）の不燃対応体制を整備し、法令・規制を遵守した屋外広告の健全な発展に寄与してまいります。

■セキシン電子株式会社について

会社名：セキシン電子株式会社

代表者：代表取締役社長 東野 真

所在地：滋賀県長浜市木之本町田部 225

設立：1971 年 7 月 1 日

事業内容：電子機器・電子部品の製造を中心に、設計から生産まで一貫して手掛ける

URL：<https://www.sekishin-group.co.jp/>

以上

「AI 時代に、人の気持ちを動かす体験で、未来の原動力をつくる」

電通ライブはイベント・スペース事業を中核に、リアル体験によるビジネス貢献と、社会全体に中長期的な価値を生み出していきます。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通ライブ 広報 三島・佐藤 kouhou@dentsulive.co.jp

<https://www.dentsulive.co.jp/>